

Title	Tome, volume, tirage, edition, etc.
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1929
Jtitle	史学 Vol.8, No.3 (1929. 11) ,p.84(406)- 84(406)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19291100-0084

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Tome, volume, tirage, édition, etc.

佛語の書物に關する若干の用語を記して見ると、先づ第一に、本元のフランスでもよく混同されるといふ *tome* と *volume* といふ似寄つた言葉がある。*tome* は部分を意味するギリシヤ語 *τομος* から出て、著述の一部分、著者自からによつてなされる多少理屈に叶つた區分、一著述中の册篇章など (*livres, sections, chapitres, etc.*) に類する區分である。*volume* はラテン語の *volumen* から出て、單に製本上の實質的區分を示すのである。前者を册、後者を巻と譯すれば、卷による區分は册による區分と一致する場合、即ち一卷一册をなす場合は極めて多いのであるが、しかしそれでも二册を合綴して一卷とすることは稀でないけれども、その反對に、單に一册を盛るために數卷を要することは極めて稀である。また、一卷は單獨に、獨立の完全なる著述を形造り得るけれども、一册は實際には決して左様のことなく、常に、一著述の部分をなすものである。

厚味の乏しい本綴又は假綴の一卷は *Plaquette* と言ひ、紙數が乏しくて假綴をなせる小著は *brochure* といひ、又後者は *Pièce* ともいふ。しからば「ブロシユール」と「プラケツト」が終つて、卷に移る境目は何處にあるかといふと、之には正確な規則がない。パリの國民圖書館 (*La Bibliothèque nationale*) には四十九頁以下の印行書をすべて「ピエス」としてゐる。アルミール・メール (*Albert Maire*) の如きは「ブロシユール」は百頁未満の著述であつて、それ以下五十頁までは「プラケツト」であるとし、他の人は、百頁を超えない八つ折又は十二折版をすべて「プラケツト」といつてゐる。

また *exemplaire* といふ語は、その頁數や册數卷數の多少には關係なく、完全なる著述(即ち部)を示し *tirage* と *édition* はよく混同されるけれども、その間に區別が存する。*tirage* (刷)といつた場合には、本文の訂正或は變更を含まないので、初刷と再刷とでは、その間に時の隔りがあり、原型の磨滅等による差異は生ずることがあるけれども、全然同じ内容なので、何の頁を開いてもびたりと符合するのであるが、之に反して、*édition* (版)はその著述が訂正せられ、増補せられ、又活字全體の組替なども含むので、一著述の初版と再版とでは、同じ頁を開いて見ても、全然符合しない場合が出来て來るのである。(Albert Cim, *Fetit manuel de l'amateur de livres, nouvelle édition*, Paris, 1923, P. 58-62) (岡崎万里)